

## 講義情報

講義情報番号	
--------	--

### 講義表題情報

* 開講学年1	2
* 入学年度1	13～
* 対象学科1	法学
* 科目名1	国際法B

### 担当教員情報

* 担当教員	杉島正秋
--------	------

### 講義詳細情報

* 講義目的・講義内容	<p>この講義では、人権保障の分野で国際法が果たしている役割、国家の自国領域（領土・領空・領海など）に対する権利の2つを中心にとりあげます。</p> <p>人権については、まず日本法の基本的特色を復習します。これは国際法上の人権保障に関するルールを国内的に実現するための手続や関連する諸問題が、すべて日本法と関わっているためです。たとえば、憲法をはじめとした国民の権利保障に関するルールと国際的な人権保障がどう関わるのか、日本の裁判所で国際人権保障に関するルールがどう扱われているのか、人権条約の国内的实施のため、どのような立法措置がとられているかといった問題です。</p> <p>これをふまえ国際法上の人権保障について、条約ごとに説明してゆきます。</p> <p>領土については、領空と宇宙空間の違い、現在の海洋制度を説明した上で、日本が抱える3つの領土問題（尖閣・竹島・北方領土）をとりあげます。国際法Ⅰと同じように、講義では、私たち市民（庶民？）が国際法とどう関わるのか、という側面を重視しています。</p>
* 到達目標	<p>①日本の法制度の特徴を、国際人権法の国内実施との関連で説明できること。</p> <p>②国際人権法に関連した日本の重要な裁判例について説明できること。</p> <p>③現在の海洋法制度への歴史的な発展過程を知り、特徴について説明できること。</p> <p>④日本の領土問題について主張の対立点を説明できること。</p>
* 授業計画	<p>1. 人権保障の歴史的展開 事前学修: テキスト1章を読む 2時間 事後学修: 人権保障の歴史を整理する 2時間</p> <p>2. 国際連合の下での人権保障 事前学修: テキスト2章を読む 2時間 事後学修: 人権と平和の関係を整理する 2時間</p> <p>3. 人権条約の履行監視 事前学修: テキスト3章を読む 2時間 事後学修: 自由権規約委員会の活動を整理する 2時間</p> <p>4. 人権条約の国内的实施 事前学修: テキスト4章を読む 2時間 事後学修: 人権条約に関連した日本の裁判例を整理する 2時間</p> <p>5. 障害がある人の権利保障と国際法 事前学修: テキスト5章を読む 2時間 事後学修: 「合理的配慮」とはどのようなものかをまとめる 2時間</p> <p>6. 自国領域に対する国家の基本的権利 事前学修: テキスト6章を読む 2時間 事後学修: 領域主権の内容を整理する 2時間</p> <p>7. 領空と宇宙空間 事前学修: テキスト7章を読む 2時間 事後学修: 領空と宇宙空間の法的な相違を整理する 2時間</p> <p>8. 領海制度の成立 事前学修: テキスト8章を読む 2時間 事後学修: 領海／公海の2元的制度が成立した過程を整理する 2時間</p>

	<p>9. 大陸棚と排他的経済水域  事前学修:テキスト9章を読む 2時間  事後学修:排他的経済水域が有する経済的価値について整理する 2時間</p> <p>10. 領域取得の方法  事前学修:テキスト10章を読む 2時間  事後学修:実効的支配の方法について整理する 2時間</p> <p>11. 領土紛争に関する国際裁判例  事前学修:テキスト11章を読む 2時間  事後学修:パルマス島事件とマンキエ・エクレオ事件について整理する 2時間</p> <p>12. 尖閣諸島問題  事前学修:テキスト12章を読む 2時間  事後学修:尖閣諸島問題の論点を整理する 2時間</p> <p>13. 竹島問題  事前学修:テキスト13章を読む 2時間  事後学修:竹島問題の論点を整理する 2時間</p> <p>14. 北方領土問題  事前学修:テキスト14章を読む 2時間  事後学修:北方領土問題の論点を整理する 2時間</p> <p>15. まとめ  事前学修:テキストを通読する 2時間  事後学修:人権と領土問題について関心を持った分野について自分の考えをまとめる 2時間</p>
* 履修の条件・注意事項	<p>憲法・民法・刑法など法律学の基本科目と、歴史学などの歴史関係科目を履修済みであることを希望します。それぞれの法分野について、指定されたテキスト・講義で配布されたレジュメなどで、受講前におさらいしておいてください。講義資料はメール配信しますので、印刷して講義に持参してください。先に国際法A(国際法I)を履修した方が理解しやすいです。配信するテキストは、講義回ごとに15のパートで編集されていますので、それぞれの講義回について、予習60分、復習30分の自主学習をした上で受講してください。</p>
* 成績評価基準・方法	<p>定期試験(50%)、課題(50%)により総合的に評価を行います。出席者には課題を適宜与え、提出したものを評価します。出欠席のみでの評価は行いません。</p>
* テキスト	<p>杉原高嶺編『コンサイス条約集』三省堂  自作テキスト(大学から交付されたメールアドレスへ配信)</p>
参考書	<p>松井芳郎『国際法から世界を見る』(第3版)東信堂</p>

(この様式はシラバスとセットにしてホームページに掲載します)

朝日大学「国際法B」の受講を希望する学生にシラバスに記載されていない情報を提供します。

科目名	国際法B
時間割	毎週木曜日 2時限目 10時45分開始 12時15分終了
初回の授業日	2018年 9月27日(木)
講義室	朝日大学穂積キャンパス 6号館 6506講義室
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月26日から翌年1月5日までは、冬季休業期間です。</li> <li>・自動車による通学は禁止です。(どうしても必要な場合は、民間駐車場を借りてください。)</li> </ul>
授業についての 問合せ	受講に関するお問合せは、朝日大学学事二課 TEL 058-329-1079 まで

地 図	
交通アクセス	J R穂積駅から大学スクールバス(無料)で約5分